



))) **空気伝導**でも新時代を切り拓く

革新的技術で 挑む先駆者

オープンイヤー型イヤホンの牽引役、米国Shokzは骨伝導だけじゃない！空気伝導型でも快適かつ安全で革新的なリスニング体験をユーザーに味わってもらうべく、完全ワイヤレスイヤホン「OpenFit」を生み出した。その果敢なチャレンジに山本 敦が迫る。

文/山本 敦 Atsushi Yamamoto

サウンドは力強いのに音漏れは少ない

現在はひとつのオーディオ製品のカテゴリーとして確立した“耳をふさがないワイヤレスイヤホン”を、最も早くヒットさせたブランドがShokz(ショックス)だ。骨伝導技術により質の高いサウンドを再生しながら、ユーザーが外の環境音も同時に「ながら聴き」ができるイヤホンは、コロナ禍の間に在宅勤務によるビデオ会議などワークスタイルの変革・拡張を求められたビジネスパーソンを力強く支えた。

そして今後はXR/VRエンターテインメントの時代が到来する。ヘッドセットを装着したユーザーが安全に動き回れるように、良質なコンテンツのサウンドを聴きながら環境音にも注意を向けられるデバイスが欠かせない。2011年の創業以来、Shokzが築き上げてきた“ながら聴き”のコンセプトは、次の時代においてもますます普及していくであろうことは容易に想像できる。

そのShokzが2023年に発売した「OpenFit」の魅力に再び注目したい。いまでも多くの音楽とガジェットのファンを魅了しているヒットモデルだ。OpenFitは耳にスピーカーユニットを近接させてパワフルなサウンドを聴く、空気伝導オープンスタイルの左右独立型

ワイヤレスイヤホンだ。サウンドの中核を担うのはカスタマイズ設計による18×11mmの矩形ダイナミック型ドライバーユニット。超軽量カーボンファイバー製のドーム型振動板をポリマーシリコン製のリング状のパーツにより固定。不要な振動を抑制する構造として精緻なサウンドを再現する。筆者は本機のピュアで自然なサウンドが好きだ。ボーカルやアコースティック楽器の音が自分の耳で聴いている感覚と同じように聴こえてくる。イヤホンが耳にあることを忘れてしまうほど、心地よいフォット感だけでなくサウンドもリアルなのだ。そして、独自の低音強化アルゴリズム「Shokz OpenBass™」の効果もあり、低音再生はまるで耳をふさぐヘッドホンで聴いているみたいに肉付きがよい。アクション系映画のサウンドにも深くのめり込める。

耳をふさがないイヤホンの購入を検討する際に、最も気になるポイントは「音漏れの有無」ではないだろうか。OpenFitの対策は万全だ。ドライバーから生まれたサウンドは、独自の「Direct Pitch™」テクノロジーにより外耳道に向かう音圧を増幅。同時に外耳道から離れた方向の音と圧力は位相キャンセルの技術によ

完全ワイヤレスイヤホン

Shokz OpenFit

¥24,880(税込) ▶投票 No.000

SPEC ●通信方式:Bluetooth Ver.5.2 ●対応コーデック:SBC、AAC ●型式:ダイナミック型 ●ドライバ口径:18×11mm ●連続再生時間:約7時間(ケース込み約28時間) ●防塵・防水保護等級:IP54 ●質量:約8.3g±0.2g(片耳)、約57g±1g(充電ケース) ●付属品:充電用USB Type-Cケーブル

Life Style VGP 2024

金賞

Bluetooth完全ワイヤレスイヤホン/
耳掛けタイプ
(1万円以上2.5万円未満)



SHOKZ

オープンイヤード 暮らしを変える!

骨伝導技術のバイオニアである Shokz。オープンイヤード・リスニングの牽引役として、革新的な技術で、より安全に、より快適に音楽を楽しめるようにするというミッションのもと、さまざまなシーンで活用できるオープンイヤード型イヤホンをラインアップする。



本邦初公開! Shokz
本社にある無響室の様子。

OpenFitがオールマイティな理由



18×11mmの 大口徑ドライバー

18×11mmのカスタマイズ・ダイナミック・ドライバーを耳穴の前に配置してサウンドを再生する仕組みを採用。ユニット内側のドーム型リングには、鉄の20倍の強度を持つという超軽量カーボンファイバーを採用。さらに、振動板を取り囲むシリコン素材のリング(ポリマリング)により、振動板をスムーズに振幅させ、豊かなビュアサウンドを実現するという。

人間工学に基づいて設計された 「ドルフィンアーキイヤーフック」

ユニット部の先端のイヤークッションコア(左)には2層構造のリキッドシリコンが採用されており、さまざまな耳の形状にしなやかにフィット。また、0.7mmの超極細な形状記憶素材を採用した「ドルフィンアーキイヤーフック」(右)は、世界中の人の耳をスキャンした膨大なデータと人間工学に基づいて設計。耳のカーブに対して優しくフィットするとともに、確実なグリップ力を発揮して、耳から外れにくい。

人の耳に向かう音圧を増幅させる 新技術「DirectPitch™」を搭載

音源と人の耳との距離と角度を最適化し、逆位相の音波を利用することで、外部に放射される音の漏れを減らす新技術「DirectPitch™」を搭載。この技術は、人の耳に向かう音圧を相対的に大きくさせるとともに、それ以外の方向への音圧は相対的に低くすることができ、これにより、オープンイヤード型ながら、明るい高域と深みのある重低音を味わえるという。なお、この技術はデジタルではなくアナログステックによるものだという。

り打ち消す。この技術は、同社のエンジニアが自動車の排気マフラーやテールパイプの騒音防止構造から着想を得たという、骨伝導イヤホンで実績をつくった音漏れ低減技術「Leakslayer™」がベースになっているという。

切れ味鋭く力強いサウンドが楽しめるのに、音漏れが非常に少ないところがOpenFitの特筆すべき魅力だ。静かなカフェや混み合う電車の中などでも気兼ねなく使えるし、ハンズフリー通話に使う場合は会話のプライバシーも守られる。

ナチュラルなサウンドバランスが本機の持ち味だが、騒音の多い場所ではあえて低音を強くしたり、ボーカルを持ち上げてYouTubeのトーク番組を聴きやすきたい場面もある。「Shokz」アプリのイコライザー機能を積極的に使うことをおすすめしたい。同じアプリからは、OpenFitを2台のデバイスへ同時につなげて切り替えながら使うマルチポイント機能の設定も簡単に行える。

本体の質量は8.3g。形状記憶素材を内蔵するイヤーフックの安定感も抜群。いつも着けていたくなるイヤホンを選ぶならOpenFitだ。

Column | Shokzの骨伝導イヤホンが 2023年販売台数No.1を記録^(※)

Shokzは骨伝導イヤホン市場を牽引するブランド。日本においても、BCNによる2023年(1月~12月)販売台数集計において、Shokzブランドの骨伝導イヤホン(「OpenRun」「OpenMove」「OpenRun Pro」「OpenComm」)が、マイク付きヘッドホン(ヘッドセット)ジャンルにおいて「骨伝導型」販売台数1位を記録^(※)。さらに、販売台数別シェアにおいても1位という偉業を成し遂げた。

骨伝導イヤホン

Shokz
OpenRun
Pro

¥23,880(税込)



Life Style VGP 2024

金賞

骨伝導イヤホン
(2万円以上)

※2023年1月-12月 BCNランキングデータ「マイク付きヘッドホン(ヘッドセット)」より「骨伝導型」を抽出、Shokzにて集計。